

東日本旅客鉄道労働組合

東京都渋谷区代々木2丁目2番6号

JR新宿ビル13F 〒151-8512

Tel. 03-3375-5740 (代)

発行責任者 古川 建三

JR東労組

本部OB会

ニユース

No.232 2016年8月発行

「生き生きと安心して暮らせる社会にしよう」と

退職者連合が定期総会を開く

沖縄代表が「連帯行動」を訴える、JR総連OBも発言!

第24回参議院議員選挙が終了して間もない7月15日、午前9時30分から都内の連合会館で、「安心・信頼の社会保障制度の確立で、生き生きと安心して暮らせる社会にしよう!」をスローガンにした「退職者連合第20回定期総会」が開催されました。

総会には、来賓と代議員・傍聴者ら190名が全国から集まり、平和な社会と高齢者の生活向上を目指した「行動する退職者連合」の運動方針を決定しました。

阿部保吉会長のあいさつ

主催者を代表して阿部会長は、4月以降熊本では、地震や集中豪雨に見舞われている。福島でも今なお故郷に戻れない人が9万人もいる。今後も支援して行く。

○参院選で退職者連合推薦候補者は8名しか当選できなかった。

○今後高齢者が安心して暮らすために、「憲法改悪阻止」と「雇用の安定と格差是正」に全力を上げる。

○退職者連合は55万人でスタートしたが、昨年83万人を越えた。更に100万人を目指していく。

と述べました。

質疑応答では6名が発言

午後13時に議事が再開され、運動方針(案)に対する質疑応答が行われました。

発言者は産別・関連退職者連合から、JR総連OB連絡会、鉄道退職者の会、連合退職者の会の3名と、岡山、福島、沖縄県の地方退職者連合の3名の6名の代議員からありました。

JR総連OB連絡会の伊藤代議員(JR東労組)は、「たしろかおるの借敗と、福島、沖縄への激励・連帯行動」の活動報告をし、「OB会は口先ばかりの老人ではなく、黙って行動し背中を見せることが大切だ」と訴えました。

その後、菅井事務局長より「2015年度一般活動報告」と質疑応答が行われた後、熊本県退職者連合の米岡代表が、「連帯行動」を訴える、JR総連OBも発言!

また沖縄県退職者連合から発言した比嘉会長は、「沖縄では高齢者も反基地闘争を闘っている。毎日が戦争状態だ。しかし、東京へ来ていつも思う事だが、東京は平和だ・・・」と、怒りの表情で「連帯行動」を訴えました。

総会は、6名の発言に対して菅井事務局長より答弁があった後、「2016年度予算(案)」、「2016年社会保障制度等に関する要求(案)」(別記要旨掲載)、そして「低所得高齢単身女性問題に関する政策・制度要求(案)」について提案がされ、満場一致で採択されました。

最後に総会宣言の後、阿部会長の元氣な団結がらばらうで総会を終えました。

2016年社会保障制度等に関する主な要求

- ◇ 社会の安全と安心、一人ひとりの尊厳を基盤に、誰もが必要な時に必要な支援を受けることのできる社会、「人間の安全保障」が完備した社会を作ること
- ◇ 年金については、政府が日銀の金融緩和と一体でGPIFに強要した株式投資比率拡大方針を撤回すること
- ◇ 高齢者医療制度については、「後期高齢者医療制度」に代わる新たな制度を作ること
- ◇ 認知症高齢者に起因する損害について、発生を防止する社会的な施策を整えると共に、家族に過剰な賠償責任を負わせない方策を検討すること

新潟

梅雨晴れの6月19日、JR新潟支社の大会議室で、「第20回定期総会」が100名の参加者で開催されました。

来賓には地本、本部OB会を始め、県高退連、たしる議員の真由美夫人、そして佐藤県議が参加しました。

発言者は9名で、

- 組合カレンダーにOB会名を入れて欲しい
- エルターのOB会加入は喫緊の課題だ

最後を締める3地本OB会総会

発言は3名の会員からありました。

等その他に、現役の「たしるプロ」の取り組みを激励する意見もありました。

会場では「熊本地震カンパ」も行われ、かつて発生した「地本OB会の混乱」の解決に尽力され、今総会で退任する渡部会長と清田事務局長に感謝の拍手が沸き起こりました。

新役員体制
 会長 山崎次男
 副会長 細谷邦彦
 沖田晴夫
 渡辺文弘
 事務局長 高橋信吾

新役員体制
 会長 堀口昇
 副会長 関谷則之
 金子秀一
 花田 實
 半田国明
 原 武久
 春原芳雄
 事務局長 赤石美弘

新役員体制
 会長 新発田正利
 副会長 石井俊郎
 事務局長 扇谷健七

高崎

6月25日14時から、地本会議室で90名の参加者で、「第20回定期総会」が開催されました。

来賓には地本と本部OB会の役員を始め、真由美夫人、柳沢市議、高橋市議と貨物労組OB会の6名の仲間が参加しました。

発言は元氣一杯の4名からありました。

- 80才を越えても毎回参加している

千葉

各地本OB会の最後を飾る千葉地本OB会の「第19回定期総会」が、7月23日「バーディホテル」で開催されました。総会には40名が参加しました。

総会冒頭、新任の下村地本委員長から講演を受けました。来賓には、本部OB会の役員と県退職者連合の畑山事務局長が参加しました。

- 生かされている事の自覚を持つよう
 - 全国高齢者集会で、活動報告する相川さんを応援しよう
 - 支部OB会員との親睦を図るため今後も地引き網をやる
- 今後の発言でした。
- 総会後は同じホテルの会場で、和気あいあいの懇親会が行われました。

わが町の有名人

水戸地本OB会

今月水戸地本OB会が紹介するのは、堀口正美さんです。

堀口さんは、常磐線常陸多賀駅の助役として活躍されていましたが、弟さんの突然の死を機に、「ニューライフプラン」の56歳コース」を選択し、平成26年12月にJRを早期退職されました。

その後インターネットで、家族みんなで出来るガラス彫刻をメインとする「サンドブラストアートエッチング工房PLUM」(ブ

支部の幹事は彫刻師

とどまらず木材・陶器・石材・金属など、幅広い素材にも繊細な彫刻を施しています。

堀口さんは現在「サンドブラストアートエッチング工房PLUM」(ブ



近所や愛好家の間で好評を得ています。今では茨城の情報サイト「いばナビ」にも掲載され、お客様も徐々に加え、JR時代の仲間も時折来店しているそうです。

現在堀口さんは多忙にも関わらず、支部OB会の幹事としても頑張っています。

(水戸市在住・堀口正美・58歳)

丸5年避難者と共に夏まつり

7月27日、米沢地区OB会が福島支部OB会と合同で「第5回原発避難者支援夏祭り」を100名規模で開催しました。

当日は本部OB会、地本OB会を始め、福島支部OB会5名、地本青年部6名、地元米沢地区OB会から8名が参加し、流しソーメン・綿あめ・ポップコーン・缶バッチづくり等に汗を流しました。組織外からもバルーンアート製作に濱田 正さん、米沢市議会議員の太田克典さんも駆けつけてくれた外、地元の新聞社やテレビニュース社が取材に訪れました。

今年は夏休み期間中の開催で、子供達が元気に流しソーメンに喜んでいる姿は「平和」そのものであり、一日も早く放射能から解放してあげたいと願わずにいられませんでした。米沢地区には約3千名が避難されていましたが、現在は700名強です。

政府は自主避難者の住宅無償提供を今年度末で打ち切る方針ですが、米沢市議会は無償提供継続要請の請願を採択しています。

終了後は、関係者で交流会を開催しました。

(仙台地本・米沢地区OB会)

地引網は大漁だ！



7月26日成田支部OB会は、千葉県・九十九里本須賀海岸において「団結・地引網&バーベキュー」を開催しました。昨年の支部OB会結成後2回目の開催です。

当日は、3歳から76歳までの総勢65名が参加して、皆で力を出し合い、沖合300メートルまでに張られた網を引き揚げました。3キロ近くもある黒鯛やヒラメ、イシモチ、コノシロと大漁で、疲れも一気に吹き飛びました。

その後は全員が集まって開会式を行い、主催者の斎藤会長は、「力を出し合ったから、重い網を引き上げる事が出来た」と感謝の言葉がありました。地本・支部・地本OB会・本部OB会から挨拶を頂いた後、皆で乾杯をしました。

その後バーベキューの定番の焼きそばと、おにぎり、それに獲れたての魚をさばいた刺身と焼き魚で満腹する事が出来ました。

また参加した子供達には宝探しやスイカ割、親子が参加したビーチバレーと、砂にまみれた楽しい一日になりました。

(千葉地本・成田支部OB会)

